

せ ん

ぼ

通信

No.14

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「文化」

たまたまスイッチを入れたテレビ…それも、都合で1分間くらいしか、見られなかった映像。光のとどいた、きれいな海の中…気持よさそうに泳ぐ魚たち。そして、ゆったり…聞こえてきた男声のナレーション…

「地球上の生物は、厳しい環境の変化に、順応しなければ生きていけない。環境に順応したものだけが生き残っている。その生き方を文化と言う」と。そうか…「文化＝生き方」なんですね。でも、そう考えると、江戸時代の町人文化とか、今の異文化交流とか…わかりやすいですね。

原発事故後、環境が大きく変わった福島…。それでも…「福島のため…ふる里のため…」と、いろいろな分野で、若い人たちの、前例のない事への挑戦がはじまっています。この若い力が、報われますように…。

そして、100年後…200年後…この福島の人達の努力が、世界の人達から、「ふくしま文化」…なんて、呼ばれたらいいかな…。

ご先祖さまが、どんな猿人だったか知らないけど、長い時間かけて…苦難をこえて…生きのびてくれて…今の私達がいるのですね。

秋日和の穏やかな日が続き、順調に稲刈りが進んだ今年の田んぼ。農家の皆さんも…笑顔…笑顔。そんなある日、聞こえてきた笛の音。外へ出てみると、稲が刈られた田んぼで、少女がフルートを吹いていて、周りを子ども達が走り回り、隣の田んぼでは、じいじちゃん達がコンバインで稲刈り…。そして、みんなが、笛の音につつまれて…。「部活で、フルートをやってる孫なの。夏休みに来た時は、キュウリ畑で練習してたんだよ」と、ばあちゃんが。いいなあ、キュウリ畑で練習なんて、絵本のよう…。緑のキュウリ畑に…黄金色の田んぼに…響きわたるフルート。栃山神での音色は特別のはず…だって、空気がきれいなんですもの。大人になっても…忘れないでね。

道路脇に止めておいた軽自動車のガラスが、粉々に…。みんなで草刈り中だったので、小石でも当たったのかなと。夫は、「まったく…こまったなあ…」 私は、笑ってしまった。「笑っていらねえべ…」 やっぱ、笑っちゃうな…だって「来年の車検は無理だべ、デコボコだしサビているし」まだまだ…もったいない。車は…前進とバックができれば、なーんて…おしゃべりしていた後だったので…。車の方から…「モウ…ヤメテクレー…ムリ…ムリ…」。私にあっちこっち、キズにされながらも、働いてくれた。どこへでも…付き合っ…走ってくれた。手入れもできず…大事にできなくて…ごめんね。そして…14年も…ありがとう。



ウエンデ 早朝の満月